

かまがや民報

□ 市政報告 □

2011年10月号外

日本共産党
松戸・鎌ヶ谷地区委員会
047-349-1544
鎌ヶ谷市委員会
047-446-0351



9月議会が開催されました。(9月1日から27日)補正予算などの16議案と陳情6件が審議されました。平成22年度の決算委員会もありました。宮城とみ子議員は一般質問や常任委員会に臨みました。

一般質問から (要旨)

学校給食行政について

給食食材の安全を守るように

放射能の内部被曝、低線量被曝の心配があるので測定器を市で購入し、食材の測定を実施するよう求めました。また、デトックス(不要なものは入れず、たまった不要物は出す)の考えを取り入れて 和食献立、米飯給食を増やすよう求めました。

市は安全には配慮するが測定器の購入は今後の課題だと答えました。

学校給食センター建て替え事業は民間企業にゆだねてはならない

今議会の補正予算案にも出ましたが、これから入札をするための手順が進められています。PFI方式による建替事業です。

1ヶ所1万食規模の大調理センターの建設費、15年間の運営、維持費などの他に銀行への利子も配当も含まれた予算です。

食材の調達や献立作成などを除いて、調理など多くの事業は企業がやることとなります。(平成26年4月開業予定。平成41年までの15年の運営です)

今までどおり公設公営で、出来れば自校直営をめざすべきです。

学校給食は学校給食法や食育基本法に基づいて公教育として行われるもの。給食は教材です。東日本大震災でも自校直営や小規模センターの給食施設での復旧の早さや活躍が実証されています。

介護保険と高齢者施策について

介護保険がはじまって11年が経過します。今、市は来年度平成24年度から3年間の第5期介護計画づくりに入っています。

介護難民が増え、特養ホーム待機者は297人に。親の介護のために仕事を辞めるサラリーマン、高すぎる保険料など課題山積です。市の高齢化率は平成23年4月1日現在で21・5%になっています。安心して介護保険による必要なサービスが受けられるように質問しました。

保険料が負担にならないような対策を

3年ごとに介護保険料が上がり続けています。サービスが増えれば保険料にはねかえる仕組みだからです。市は低所得者対策としての細分化を検討、提案した12段階への所得設定の細分化は今後研究していく、と答弁しました。

また、介護度の低い人たちが保険サービス(食事づくり、掃除、買い物など)をうけられなくならないように求めました。

市長には国へ声を上げるよう要請しました。

市長答弁

特に低所得者への保険料や利用料の軽減策への国の支援、基盤整備、介護従事者の対策など要請してきた。今後、誰もがサービスの利用に過度の負担とならないように、また、安心してサービスが受けられるような制度として継続していきたい。

保険料基準額の推移

第1期	2840円
第2期	3100円
第3期	3650円
第4期	3910円



第5期は?
国の推計では月額1人平均5千円以上に?

くらしが苦しい
はら割も。介護保
険料の負担感じ
ている(半数~7
割の人たち)

市のアンケートから

